



■ 動物塚への納骨と慰霊祭

今年も動物愛護週間と秋のお彼岸にあたる9月21日(金) 芦屋市霊園の動物塚にて動物慰霊祭が行われました。今回の慰霊祭では前号でもお知らせしたとおり、市民の方が自宅で保管されているペットのお骨をその場で納骨できる運びとなり、納骨希望者を募集してみたところ、予想をはるかに超える多数の申し込みがありました。ご家族全員で参列された方もあり、納骨される方には亡くなったペットの写真をお持ち頂き祭壇に飾ったりしたこともあって、今年は例年以上に盛大な慰霊祭となりました。

会長の開会挨拶に続いて、いよいよ納骨が始まります。今回は、一体ずつ順番にご家族からお骨を受け取ったスタッフが投入口から入れるという形で納めさせていただきましたが、その瞬間を写真におさめる方あり、穴をのぞきこまれて別れを惜しまれる方あり、手を合わせて涙される方あり・・・ご家族の皆様にはそれぞれの深い思いを込めて、小さな家族とのお別れをして頂きました。

その後、参列者代表から「慰霊のことば」がありました。この春に闘病の末に愛犬ポリーちゃんを見送った宇都さんは、当協会の一時預かりボランティア。ポリーちゃんの保護から闘病、そして死に至るまでの胸を打つエピソードの数々と温かい心情のこもったスピーチに、参列者の皆さんはご自身の体験とも重ね合わせ、涙を流される方も多く見られました。最後に参列者

全員で動物塚に献花をして閉会となりましたが、その後も用意された焼香台でご焼香されたり、再度動物塚で手を合わせたり、参列者の皆様それぞれに思い思いの慰霊の時間を過ごして頂きました。

市の環境課からは「今回に限り」と言われて行った「納骨・慰霊祭」でしたが、既に市民の方々からは「次はいつですか？」とのお問い合わせも数多く届いています。当会といたしましては、出来れば来年もまた「動物慰霊祭での納骨」が可能になるように願うとともに、行政との意見調整を行い協力していきたいと考えております。



ただいま、ポリー!

追悼のページ



4年前の夏の日、芦屋動物愛護協会からマルチーズを預かることになりました。捨て犬で某動物管理センターに収容されたけれど引き取り手がなく、翌日には殺処分になる予定の犬とのことでした。一時預りの打診を受け「いいですよ」と気軽に答え、白くてフワフワした可愛いマルチーズの到着を楽しみに待っていました。

ところが事前にアトピー性皮膚炎があると聞いてはいたものの、連れて来られた犬を見たとき驚きといたら……。汚れた毛をバリカンでカットされたその犬には、純白の美しい毛並みなんてありません。全身がひどく痒いようで、掻き過ぎた身体の一部は禿げて象の皮膚のようです。目は充血して痩せていてヨタヨタしているし、お腹に多くの乳腺腫瘍があったのです。「殺処分される犬猫の命を救いたい!」と思っていた気持ちは揺れ、満身創痍の犬を預かることに不安で一杯になりました。

ただこの年齢不明の老犬にも良いところがありました。身体は結構、おなかに食欲があるのです。「この子は生きようとしている!」そう思い、ポリーという名前をつけて何度も名前を呼ぶうちに、この子の面倒をみようという小さな覚悟がようやく私の中に芽生えてきたのです。獣医からアレルギーの指導を受けてシャンプーを繰り返し、アレルギーを避けた食事を与えると皮膚の状態も半年ほどで改善し、やがて、お散歩中に「かわいい!」と声をかけてもらえるほどになりました。

皮膚の状態がよくなると、乳腺腫瘍の部分切除、子宮水種、鼻血の処置など緊急手術を何度も受けることになりました。でもポリーはその度に命の危険を乗り越えて、家に戻ると「夕食ちょうだい!」と元気に要求吠えをします。それで私達はいつか「不死身のポリー」と呼ぶようになっていました。

そんなポリーとは何度も旅行にいきました。「さんふらわあ」でキャビンと一緒に泊まり、別府港から車で鹿児島島の102歳の祖母に会いにも行きました。犬好きの祖母はポリーを膝に乗せ、自分の犬のようになでながら私達と話をすることが出来て、ポリーとの良い思い出のひとつになりました。

いつしか夜は私に身体をくっつけて眠るようになり、私が夜更かしているとき、階段を上り二階の私の布団で枕を使って先に寝ています。こうして、ポリーはいつの間にか私達の家族となっていました。

宇都 寿江

この春先に突然呼吸が苦しくなったポリーは、乳腺腫瘍が肺に転移しての呼吸困難と診断されました。「元の飼い主が早期に避妊手術さえしていたら……」と悔やまれてなりません。(避妊手術で乳腺腫瘍になる確率が下がるのです!) 動物病院の酸素室に入院したポリーを、毎晩見舞いに行く日が続きました。

でも、不死身のポリーは数日後にはまた元気に復活して退院。そんな風にして、しばらく発作と回復を繰り返す日々が続きました。いよいよポリーが危ない!と病院から連絡があったのは今年5月14日の朝。勤務中だった私に代わり、主人がかけつけました。酸素ボンベのチューブを口にいられたポリーの心臓は止まってしまう、先生が蘇生処置をし始めた時にちょうど主人が到着しました。ウチの人の「ポリー!」という聞き覚えのある声がポリーに届いたのでしょうか。一度止まった心臓がその時再び動き始めたそうです。驚いた先生は「奇跡だ!」と言われ、そのまま蘇生処置を続けようと言われました。けれども主人は「持ち直してもあと一日」という先生の言葉を聞いてポリーの方に向きなおし、身体をなでながらこう言ったそうです。

「ポリー、もういいよ。もういいよ。」

するとそれがポリーの返事だともいうように、心電図のモニターの鼓動を示す曲線が、スーッとまっすぐな線になり、それが不死身のポリーの最期でした。

犬や猫はいなくなっても気配を残すものですね。まだポリーは二階にいて、勝手にお布団で寝ているようです。肉を焼くとその匂いで起きだして、階段の上からこちらを覗き込んでいる気がします。外でマルチーズをみかけると「あ、ポリー!生きてたの!?!」と思います。飼育放棄された犬のニュースが流れると、ポリーのことを思い出します。

我が家でポリーは、姿は見えないけれどもなんとなくそばにいる、そんな存在になりました。だから今でも時々名前を呼んでいます。「ただいま、ポリー!」



Polly

シリーズ 第六弾 野口動物病院

院長 野口 勝

こんにちは！ 東山町で開業して17年目に入る野口動物病院です。春は、狂犬病・その後フィラリア予防やノミの対策、暑さとともに熱中症や皮膚病・下痢などの消化器疾患が増え、11月はひと段落の季節となります。この時期は、それぞれの動物病院の特色である専門科目の疾患が増える時期とも言えるでしょう。

我々獣医師は基本的に全ての診療科目を診察するようにインターンの時にトレーニングを受けるのが一般的です。このインターンの時にどのような病院に入るのかで、何を深く掘り下げて専門科目とし、診察治療するのか・できるのかが分れてきます。また、開業した時の検査器具・手術道具・薬の用意なども色々変わってくると思います。

当院では、ご存じのように眼科を専門科目としており、以下のことに気をつけながら診察を行っています。

- できるだけ痛みを取り除く
- 全身状態を最優先する
- できるだけ視覚を確保する
- 飼い主様の時間的拘束を減らすために最小限の投薬の種類にする
- 自信が持てない、わからない症例は他院を紹介する
- 飼い主様が家族に説明できるように説明事項を紙に書いて写真とお渡しする

詳しいことはホームページに、今月の休診日と共に載せていますので、一度ご覧になって下さい。

最後になりましたが、いつも狂犬病集合注射、里親探し、犬のしつけ方教室など、ペットと人のよりよい共存に尽力されている芦屋動物愛護協会様に芦屋市獣医師会会長として感謝しております。これからもよろしくお願い申し上げます。

野口動物病院ホームページ http://www.coco.zaq.jp/noguchi_vet/index.html



動物のお医者さん

リレートーク

シリーズ 第七弾 フジタ動物病院

院長 藤田 武一

獣医療の昔・今・未来

私が芦屋で開業した昭和50年代後半（今から32年ほど前）は、最近の明るいオシャレな動物病院などはほとんど見られず、看板も〇〇獣医科、〇〇家畜病院とかの名称が使われていました。その頃の飼い主さんからは、動物病院に少し暗いイメージを持っていたと聞いたこともあります。今の動物病院の様に設備が充実しておらず、ようやく検査機器が出始めた頃は、まだ「血液検査」というものが一般診療の中に浸透していない時代で、私がインターンで勤めていた病院では、血液検査の1項目するのに20分もかかる時代でありました。それでも先人の先生方は聴診器と触診等、いわゆる五感を駆使して、しっかりと診断されていました。私は、問診と聴診と五感を使った診断を開業医ではまず第一にするべきだと最近になって改めて思います。その次に最新の医療機器で確実な診断治療を行い、次に必要であれば2次診療、高度医療へ紹介することが望ましく、またそれが出来る時代に獣医療も進歩してまいりました。

また、最近話題になった「iPS細胞」などによる再生医療が獣医療に臨床応用されるのも、そう遠いことではないでしょう。すでに整形外科の分野で行われているとも言われています。「ペット」から「コンパニオンアニマル」へと呼び方も変わり、

ますます動物達が家族の一員として確かな存在となっていることを感じています。家族構成が変わり高齢者の1人暮らしや、若者の1人住まいがこれからますます増加するでしょうし、人と動物がお互いになくはならない存在になっていくに違いありません。セラピー犬が人間の老人医療にかなり貢献している事実はまぎれもなく、現代社会の中でコンパニオンアニマルは重要な働きかけをしていると言えるでしょう。我々獣医師も、飼い主様とコンパニオンアニマルの為に日々の診療にますます責任の重さを感じないではいけないこの頃です。

これからも人と動物との絆と深いお互いの思いが強くあり続けることを願うとともに、少しでもコンパニオンアニマルと飼育者のお役に立てる様、我々獣医師も獣医療に携わって行きたいと思っております。



Bazaar

今年は、あしや秋まつりにも縁日で出店しました。



秋まつり

10月7日(日)9時~15時 精道小学校校庭にて

秋まつりの出し物は...
 ■ヨーヨーつり
 ■動物グッズ
 ■パネル展示

今回は、スタッフによる動物着ぐるみ2頭(クマと犬)も登場し私達のヨーヨーつりのお店は、朝から子供達の注目の的! 売れすぎてヨーヨーが足りなくなったので、昼前に慌てて追加購入したくらいでした。まつり会場のイベント「ギャルソンレース」に出場し力走したクマさん 暑い中を大変お疲れ様でした! トコトコと走る姿が可愛くて人気絶頂でしたね! 反省点としては、せっかく展示した動物愛護の啓発パネルが来場者の皆さんにあまりじっくり見ていただけなかったようなのでパネルの展示方法に何らかの工夫が必要だと思いました。

平成24年6月バザー 収支報告

日時 6月2日(土)、3日(日) 10時~16時
 場所 旧はこぶね保育園 園庭(芦屋市上宮川町)
 バザー品提供者 65名以上
 準備・販売・片付けスタッフ数 のべ56名

●収入

売上金	212,290円
募金箱	9,736円
寄付金	13,000円
寄付金	4,500円(スタッフ飲物代として)
収入計	239,526円

●支出

会場費	10,000円(教会へ献金)
消耗品	10,069円(値札他)
備品	11,404円(簡易テント他)
福利厚生費	36,313円(スタッフ昼食・飲物代)
雑費	800円(交通費)
支出計	68,586円
動物愛護基金算入額	170,940円

平成24年10月バザー 収支報告

日時 10月7日(日)、8日(月・祝) 10時~16時
 場所 精道アパート1階(芦屋市精道町)
 バザー品提供者 51名以上
 準備・販売・片付けスタッフ数 のべ48名

●収入

売上金	237,750円
募金箱	13,438円
寄付金	16,000円
収入計	267,188円

●支出

会場費	20,000円(光熱・駐車お礼)
消耗品	5,174円(衣類保管ケース他)
広報費	22,700円(案内ハガキ・ポスター印刷他)
福利厚生費	30,861円(スタッフ昼食・飲物代)
支出計	78,735円
動物愛護基金算入額	188,453円

新しい家族が決まりました!

里親通信

■ダックスフントがやって来た!

我が家は、84歳の母ともうすぐ60歳の私と息子の3人家族です。母との会話は、毎日同じような話の繰り返しが多いけれど、動物を飼えば楽しい話題が増えて明るくなるよという娘の勧めで、小型犬を飼うことに決めました。西宮に住む娘夫婦は、7歳のミックス犬を飼っており、お散歩仲間からの紹介で芦屋動物愛護協会のことを知ったようです。初めて犬を飼うので不安もありましたが、息子もちゃんと面倒を見ると言ってくれたので決心しました。

犬とのお見合いの日が決まってから、どんな子がやって来るのか、期待で胸がドキドキの毎日でした。我が家にやって来たのは茶色のダックスフント。大人しくて素直そうな良い子で、初めて見る沢山の人間に囲まれてもイヤな様子も見せずに家中を探検。早速この日から2週間のお試し期間が始まりました。

名前は「ブラン」に決定、ブランは、トイレの失敗も無く、直ぐに家族にも懐いてくれて、最近では、私のお風呂やトイレにまで着いて来たり、椅子に座っているとひざ上に飛び乗って甘えて

きます。遊んで欲しい時は息子に、おやつが欲しくなると母が相手の様です。早起きのブランは、毎朝隣の部屋で寝ている息子のベッドに入ってひとしきり遊び、6時半頃には、私の部屋にも起こしにやって来ます。ベッドの上でコロコロと動きまわり、私の顔を舐め、ひっくり返り、お腹を出してヨシヨシして〜♪とおねだり。とてもカワイイです。お散歩コースは、目の前にある緑豊かな仁徳天皇陵。多くの人や犬に会って楽しそうです。家に帰っても、窓越しに見える車や人を見ながら尻尾をフリフリご機嫌にしています。



ブランのお陰で、毎日明るい話題も増え、すっかり我が家のアイドルになっています。カワイイね、お利口ね、良い子だね〜と言われるのが嬉しいみたい。良い子に出逢うことが出来て家族で喜んでます。この子の保護に携わって下さった多くの方々にお礼申し上げます。本当にありがとうございました。 木原 久美

■「4日で我が家の代表選手になったお姫様 みみちゃん」

10月11日
芦屋動物愛護協会の谷崎さんが、3匹の子猫を我が家まで連れてきてくださいました。どのこもかわいくて1時間迷って、白黒のあまり美人ではない子猫に決定。

10月12日
移動用のかごにはいってもおとなしく、ニャンとも言わないのでこの子は楽だなーと、恵美さん(妻)と話してましたが、かごから出してしばらく見ていると、安全確認の探検が終わると、とんとんとんととんとんでまわってまわってまわるーうーう。

10月13日
孫と芙左子(娘)が来て、とんとんとんとんで、まわってまわってまわるーうーう。

10月14日
同上・・・朝4時から恵美さんのまわりでホップステップジャンプ。



10月15日
同上・・・恵美さんコーチ降板。女中としてみみちゃんにおつかえ。わたしは猫用のトイレ砂をかけてこい(はは一かしこまりました。) つめとぎ用の板もかけてこい(はは一かしこまりました。)完全に運転手兼雑用係です。

みみちゃんの執事
畑 義温



ドッグサロン/ドッグホテル/ショップ/クリニック

フルール FULL:RE
DOG CARE STATION フルル

〈営業時間〉 平 日 / 8:00~21:00
土・日・祝日 / 10:00~20:00
(各サービスによって受付時間が異なります)

芦屋市船戸町1-32 ☎0797-25-1811
<http://fullre.jp/>

JR芦屋駅 南口すぐ

※最寄りのバス・電車までご利用ください(有料) 3,000円以上のご利用で1時間無料駐車券を上げます。

ペットトータルケア サービス

芦屋パティーズ

ペット用車いす・介護用品販売/
訪問介護/シッター/お散歩代行

**ペットの介護・ケア専門SHOPが
オープンしました!**

〒659-0075 芦屋市津知町 1-23

店舗 11:00~17:00 不定休 訪問介護/シッター/お散歩代行 年中無休

ホームページは...
0120-580811 芦屋パティーズ 検索

○ 寄付金 平成24年4月1日～平成24年10月31日 合計 665,452円

寄付金をお寄せ下さった皆さまに厚く御礼申し上げます。どうか、今後も引き続きご協力賜りますよう 宜しくお願いいたします。

年	月	住所	お名前	金額	年	月	住所	お名前	金額	年	月	住所	お名前	金額
24	4	浜芦屋町	H様	30,000	24	5	松浜町	M様	3,000	24	7	若葉町	I様	2,000
	4	若葉町	A管理組合様	100,000	5		奥池南町	I様	10,000	7		神戸市	Y様	10,000
	4	東芦屋町	Y様	4,000	5		奥池南町	K様	10,000	7		朝日ヶ丘町	Y様	20,000
	4	緑町	A様	1,000	6		奥池町	M様	2,000	8		大原町	(株)K様	61,952
	4	山手町	R会様	5,000	6		三条町	T様	3,000	9		神戸市	T様	25,000
	4	朝日ヶ丘町	F様	10,000	6		南宮町	S様	2,500	9		若葉町	K様	10,000
	5	伊勢町	T様	10,000	6		尼崎市	Y様	5,000	10		朝日ヶ丘町	F様	10,000
	5	加古郡	O様	10,000	6		神戸市	O様	3,000	10		三条南町	Y様	5,000
	5	山手町	T様	10,000	6		加古郡	Y様	10,000	10		岩園町	S動物病院様	20,000
	5	浜芦屋町	H様	5,000	6		三条町	Y様	3,000	10		業平町	S様	10,000
	5	奥池南町	Y様	30,000	6		呉川町	T様	30,000	10		高浜町	K様	3,000
	5	伊勢町	Y様	5,000	6		業平町	T様	2,000	10		浜町	F様	1,000
	5	打出小槌町	T様	5,000	6		月若町	O様	3,000	10		業平町	S様	2,000
	5	西宮市	N様	5,000	6		若宮町	H様	2,000	10		松ノ内町	S様	3,000
	5	大阪市	R様	2,000	6		大原町	(株)K様	30,000	10		若葉町	N様	5,000
	5	西宮市	N様	5,000	6		松ノ内町	S様	3,000	10		茨木市	H様	10,000
	5	業平町	S様	10,000	7		竹園町	H様	10,000	10		浜町	S様	10,000
	5	岩園町	S動物病院様	11,000	7		松原市	K様	5,000					
	5	朝日ヶ丘町	T様	58,000	7		大阪市	O様	5,000					

ペットフードやケージなどのペット用品も、多数の方から寄贈して頂きました。

○ 慰霊祭 お供え金について 合計 24,000円

住所	お名前	金額	住所	お名前	金額
朝日ヶ丘町	F様	2,000	山手町	R会様	5,000
松ノ内町	F様	5,000	大原町	S様	2,000
精道町	I様	2,000	松ノ内町	S様	2,000
緑町	M様	1,000	西藏町	Y様	3,000
翠ヶ丘町	N様	2,000			

* 愛護協会事業(動物慰霊祭)への寄付金として受領しました。

* 動物慰霊祭の経費支払に充当しました。

* 供花他 多くの品をお供え頂きました。

入会案内と寄付の受付

平成24年度より改訂致しました。

本年度からは一律ではなく、1口/1,000円より、口数はお気持ちでお納め下さい。

出来れば2口/2,000円をお納め頂けると、新規事業に着手する事も容易になりますので、ご協力宜しくお願い致します。

用途について

年会費 動物愛護啓蒙・推進事業費、会報作成・発送費、通信・事務費等

寄付金 動物(主に犬猫)を保護した際の医療・飼養・里親譲渡までにかかる費用

会費 1口:1,000円/年 2口:2,000円/年 3口:3,000円/年 (入会金はありません。)

1 協会事務局(芦屋市役所・経済課)窓口にて

住所・氏名・電話番号をご記入のうえ会費を添えて

動物を愛する全ての方の入会を歓迎致します。

2 郵便振替口座へ会費等を送金

口座番号:00960=8=265605 口座名:芦屋動物愛護協会



芦屋動物愛護協会 Ashiya Society for the Prevention of Cruelty to Animals

事務局:芦屋市役所経済課内 電話:0797-38-2033 Web:http://www.ashiyaanimalsociety.com/

Mail:ashiya_animal@hotmail.com